（第三種郵便物認可 昭和七年六月十五日）　昭和十三年九月九日　常磐新聞　（木曜日）　第一千百五十六號　【一】

夕刊

常磐新聞

九月八日

發行兼編輯印刷人　伊藤隆次
福島縣小名濱町古港一
發行所　常磐新聞社
日刊但日曜祭日祭日休刊
一部二錢　一ケ月三十錢
廣告料　一行五十錢

クスリ
資生堂
小名濱町
電一四七

軍人遺家族に生業を！
授産所設置の計畫進む
漁業組合附近に敷地撰定中

應召軍人遺家族に生業を與へやうといふ授産所が小名濱町に設置されることになつた、鰯の煩刺し製造を主とし賃金は男一圓二十錢、女六十錢見當で目下漁業組合附近に敷地を選定中であるが決定次第着工の筈であるが決定次第着工の筈であるので實現を待たれてゐる

建物は五十坪内外、建設はこれが救濟に乘り出し調整資金を低利で貸付けることになつたので小名濱町役場でも示達に基き該當者の調査を開始したが希望者は役場内社會課へとし〳〵申出られたいと

第一青年分團總會
今夜は遺家族慰安音樂會

團員七十名を有する小名濱をなすが夜分は成章女學校町第一區（古港）青年分團では出征兵遺家族を招いて音は今八日午後四時鎭守諏訪樂會を催すはずである、音神社に臨時總會を開き分團樂會は遺家族入場後の午後長野崎貞行氏の「若し自分七時からは一般の入場も歡が」と題する挨拶をはじめ迎すると國民精神總動員の趣旨强調

厚生省が乘出した
遺家族の負債整理
希望者は役場へ御相談を

名譽の戰死傷者及び出征軍人の遺家族には負債のため生活を脅威されてゐるもの勘からずあるので厚生省で

一名のみの肥料商

縣で許可取消し

小名濱町における肥料商（製造販賣兼）は現在百二十名が縣から許可されてゐるが此の中には許可されてゐるのは名のみで實際の業務に携らぬもの可なりに多く取締上其の他に種々弊害を來してゐるので縣では此の種の許可を斷乎取消すことになり小名濱町役場で通牒により調査に着手した

炭礦街應召の
佳話
採炭夫でも陸軍少尉

一介の坑夫が少尉の軍服り前身を秘して磐炭の採炭夫々々しく勇躍應召して時局となつたものである、鑛山にふさはしい話題を炭礦街では内規として中等校以上では内規として中等校以上卒業の者は坑夫として使用のである情が事情なので同君の妻女そめさん（二七）長女榮子さん（七）長男國司君（三）を引受應召したが同礦勞務課で不審に思ひ事情をたゞすと同君は岩手縣膽澤郡佐倉河村滿倉出身で盛岡高等農林を卒業、農林技師の有資格者だが斗酒なは辭せぬ豪放な性格だけに酒を友に各地を流浪してゐたが時局に感憤して心氣一轉、確固たる新目下中支戰線に活躍中の平市田町出身内藏敏二君は市

戰線から送金

平女子青年團では來る二十二日第二校講堂に總會を開

平女青敬老會

稻熱病豫防
苗代講習會

後の心配はなく存分に働いて貰ひたいと激勵、勇躍出發せしめた

物資統制講演會

小名濱町役場主催の物資統制講演會は今八日午前九時から磐城座で開かれた、講師は平署長本田勇次郎氏

玉川村兒童獻金

玉川村高等科二年生遠藤光子さん外十九名は村内の藤原川からすじみを採り賣上金七圓八十錢を慰問袋購入費に獻金

× ×

同じく玉川校高等科一年生小泉秀男君外七名は小使錢を集め一圓六十二錢を同村國防後援會に寄附

軍事後援會へ十圓送金

磐女の競技部
奥羽豫選に出發

磐女陸上競技場では來る十一日山形市に開催される全日本陸上競技大會南奥羽豫選に備て連日猛練習を行つてゐたがいよ〳〵明九日必勝を期して午前八時三十分平發で出發する

訓練費に名をかる
寄附募集の防止
市役所で各戸へ警告

防空演習はいよ〳〵中三日より敬老會開催の件其の他各をおいて實施されるが最近種行事の打合を行ふが終つこの訓練費だと稱し寄附募て好間村方面でハイキング集をしてゐるものがあるのを行ふはず平當局では平署と連絡の上各戸に通達して一般の警戒を促すことになつた、因に右の寄附募集行爲は演習の趣旨に反することは勿論募集取締規則に抵觸するもの

半島人の赤誠

七日夜平署の窓口に松本幸吉さんといふ人が現れ現金三圓八十錢に

私は半島生れの者ですが日本帝國の赤子である光榮に感じ昨年來酒をやめて貯めた金を國防費の一部にあてゝ貰ひたいといふ意味の手紙を添へて差出し係官もこの赤誠に打たれた

磐女寄宿生獻金

磐女寄宿生一同は第三回恤兵金二圓四十錢を軍事後援會に寄託

監督所長昇進

平土木監督所長田中耕吉氏は六日付技師に昇進

平署へ新自動車を寄附

平警察署へシボレー卅八年型の新自動車一台（四千七百圓）と自轉車十二台、一台の價格（六十圓）を磐炭方面の寄附で購入された

× ×

× ×

天氣豫報

今晩　北の風曇り
明日　南東の風曇り一時晴れ

撞球臺讓度

一、賣値壹百五十圓
一、賃貸月七圓

何れ共御希望者は至急御申越され度

常磐新聞社
電（呼）一三九

各位

益々御清榮之段奉賀候　今般優良煩刺箱材料讓渡申可候間　希望者は當組合か小名濱町橋本拾貳番地　大高箱店宛御申込被下度候

申込締切期日昭和十三年九月三十日
單價壹組ニ付貳拾五錢也

保証責任　小名濱海産物卸商業組合
電話七一番

印刷の御用命は！

常磐印刷所へ

電話（呼）一三九番

陣中通信

北支　石田部隊
大越美身

長らく御無沙汰しました、留さんが御變りなくて何よりです、小生只今〇〇〇といふ所に居ます、此處は〇月〇日より多數の敵の包圍攻撃を受け〇月〇日までは彼我相對峙して毎日〳〵彈丸の下に暮してゐました、〇月〇日、遂に空陸一致の果敢な突撃を敢行せん滅に近い打撃を與へて敵を潰走せしめました、しかし此の〇〇日間は我々は小癪にも逆襲する支那兵の前に城壁を死守し布團の上に寢たことは一夜もなく毛布にくるまつて假寢をつゝけてゐました、通信は不通糧秣は欠乏し粟飯も一變うまく喉を通るやうになりました、當地の暑さは酷いです、毎日晝は百三十度位はありませう、とりわけ支那家屋は窓がなく煉瓦造り又は土藏造りのため蒸暑いといつたらありません、城外に一歩出ると西瓜、南瓜がまだ少し早いがゴロ〳〵してゐる、我が〇〇では去る四日敵追撃砲の亂射に遭ひ戰死者〇名を出したが戰死者の一人江尻上等兵は泉村小川の出身で故郷を同じく朝夕一緒に働いてゐただけ何としても殘念でなりません、戰友の死ほど悲しく泣けるものはない必ず仇を討つてやると齒を喰ひしばつて居ます滿洲からも此の間手紙が來た、病氣もすつかり恢復し戰友の許に歸れたと喜び勇んだ手紙でした、兄貴に負けぬ手柄をいまにきつと立てて見せると心強い便りでした、

小生のことは心配なく、家の方をたのむ、そのうちまた

ゴシップ

中村から平に轉任して來た清野民報子最近大きな墓口に刻煙草を詰め込みナダマメ煙管を携帶して警察署でも市役所でもさては宴會の席上でも所嫌はずバカ〳〵とやつてゐる、國民精神總動員の趣旨を身を以て實踐してゐるわけだが硫石の猛者にも煙管とバットを使ひ分けなければならぬ場合が一日に何回かはあると

與太は亂れ飛ぶ

與太勇士に告ぐ？

今度「與太は亂れ飛ぶ」欄を復活することにした、どし〳〵と投稿してくれ

（ヨタ部隊長）

某カフェーの女給が桃色の青春を秋のそよ風にさらし、狹い道畔に立つて客待つ顔でゐたが、眞赤なお越しをまる出しに、若き僕達を魅力的に誘ひださんとはあまりにも情ないだろう……

（一兵卒）

× × ×

惑る會社の花咲爺さん、近頃サッパリ灰を蒔かない、オヤ…何うしたことだろう

（與太部隊長）

× ×

時代の生んだ、合理化せる……
セメント瓦製造販賣
高木惣治商店
小名濱町定西
電話二一八番
◎御報せ次第參上御見積申可候

浪曲大家合同出陣
末廣　友若　コロンビヤ專屬
東家　樂燕　浪曲界ノ元締
東家　三樂　テイチク專屬
出演者多數に付御早く御出で下さい
九月十日一日限り
磐城座

爽快なる氣分で……
楚々たるサービスで、
是非一杯……
カフェー　末廣へ
小名濱下横町

永久に記念する婚禮の御寫眞は特に入念藝術味豐富に撮影
鈴木寫眞舘へ
小名濱町中島郵便局隣
何時も主人が責任撮影を致します

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
平市驛前（電話三三六）
醫學博士　高柳博明

一歩二歩と健實なる歩みを續ける庶民金融界の王座
磐城無盡を御活用下さい
小名濱町出張所
小川爲八郎

性病科　午前宅診
産科　午後往診
婦人科　入院隨意
專門
平市田町
井坂醫院
（電話五五九）

調味料として美味滋養に富む
花鰹節製造販賣元
高木嘉一郎商店
小名濱町定西　電話二〇八番
▼原料煮干賣買仲介▲

味覺の殿堂
「幸樂」自慢の即席料理！
御商談に
御會食に
割烹　幸樂

至急募集
一、印刷工數名採用
青年住込二十圓以上を給す
右來談されたし優遇す
小名濱町古港
常磐印刷所
電話（呼）一三九